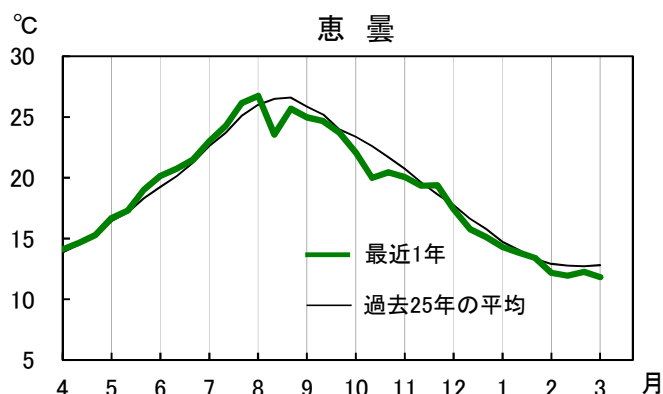
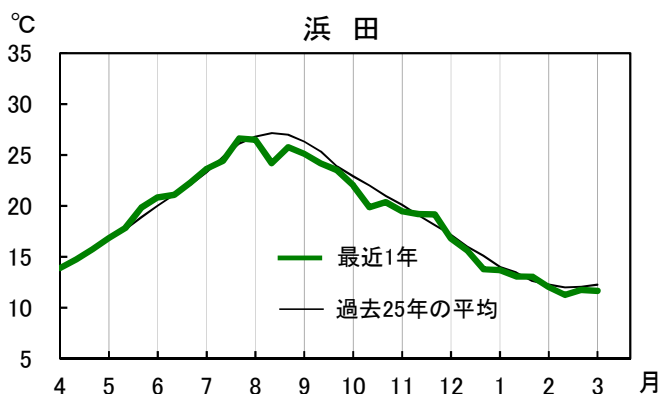




《2～3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.7℃	-0.4℃	やや低め
恵曇	12.1℃	-0.7℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では2月は上旬が「平年並み」、中旬が「やや低め」、下旬が「平年並み」でした。一方、恵曇地区では2月は上旬が「やや低め」、中旬が「かなり低め」、下旬が「やや低め」と低め傾向で推移しました。3月に入り、上旬時点では浜田地区は「やや低め」、恵曇地区は「かなり低め」で経過しています。



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。マアジは89トンで平年の7割でしたが、主体であるサバ類は420トンで平年の2.2倍となりました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。主体であるサバ類は西郷で1,537トン（平年の1.9倍）、浦郷で384トン（平年の1.2倍）、マアジは西郷で1,050トン（平年並み）、浦郷で429トン（平年並み）でしたが、この時期もう一つの主体となるブリはほとんど漁獲されませんでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体のほぼ100%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は2.1トンで平年を上回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）のみが漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は130kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は14.4トンで平年を上回りました。前月に引き続きマフグがまとまって漁獲されました。一方、この時期まとまって漁獲されるソウハチは低調で平年の6割、アンコウ、アナゴ類、ムシガレイも低調で平年の4～8割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではソウハチ、ヒレグロ主体、久手地区ではヒレグロ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は和江地区では平年を上回り、久手地区は平年並みの水揚げとなりました。両地区とも、ソウハチ、ヒレグロ、アカガレイがまとまり、この3魚種で全体の5～6割を占めました。両地区ともソウハチは平年並み、アカガレイは平年の7割の水揚げに留まりましたが、ヒレグロは久手地区では平年の1.9倍の水揚げとなりました。

【定置網漁業】

石見地区ではヤリイカ、サワラ、スズキ主体の漁況で、1統当りではヤリイカが平年の1.9倍、サワラが2.3倍、スズキが4.1倍だったものの、この時期主体となるマアジが平年の1割となったため、全統の総漁獲量は16トンで平年並みとなりました。出雲地区ではスルメイカ、ヤリイカ主体の漁況で、1統当りではスルメイカが2倍、ヤリイカが3.1倍でこの2種で全漁獲物構成の8割を占めました。この時期主体となるブリが平年の4割となったため、全統の総漁獲量は153トンで平年並みとなりました。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りではスルメイカが平年の1.3倍で全漁獲物構成のほぼ10割を占め、全統の総漁獲量は111トンで平年を上回りました。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は53kgで平年並みでした。石見地区ではサワラ類、ブリ、ヤリイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は31kgで平年並みでした。隠岐地区ではスルメイカ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は34kgで平年並みでした。

【平成 27 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	519トン	81%	121%	39.9トン	119%	136%	◎
	西郷	サバ類、マアジ	2,715トン	74%	76%	51.2トン	71%	81%	▲
	浦郷	マアジ、サバ類	908トン	45%	66%	29.3トン	68%	72%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	407トン	341%	260%	2.1トン	266%	182%	◎
	西郷	スルメイカ	3トン	773%	72%	130kg	31%	67%	○
沖合 底びき網	浜田	マフグ	302トン	137%	95%	14.4トン	137%	108%	◎
小型 底びき網	久手	ヒレグロ	93トン	82%	71%	736kg	111%	107%	◎
	和江	ソウハチ、ヒレグロ	180トン	80%	72%	799kg	102%	98%	○
定置網 (大型)	浜田	休漁	-	-	-	-	-	-	-
	美保関	スルメイカ、ヤリイカ	78トン	228%	102%	953kg	184%	105%	○
	浦郷	スルメイカ	66トン	287%	200%	2.9トン	275%	213%	◎
釣り・縄	仁摩	サワラ類、メダイ	5トン	104%	30%	36kg	94%	63%	▲
	大社	サワラ類、ブリ	19トン	408%	80%	68kg	323%	131%	◎
	西郷	カサゴ・メバル類、スルメイカ	2トン	172%	33%	22kg	127%	72%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを-、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を-、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を-とした

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。